

たかぎ  議会だより

# 議会集落懇談会特集号

特集号  
平成22年12月

発行 長野県喬木村議会  
編集 議会だより編集委員会  
発行責任者 原 嘉俊  
印刷 龍共印刷(株)



# 初めての議会集落懇談会を行う

## 議会改革に関する集落懇談会を終えて

### 「お礼とこれからの考え方」

議長 原 嘉 俊



去る10月12日より村内14会場で開催させていただいた村議会として初の集落懇談会には、村民のみなさまには夜分お疲れのところをご出席いただき誠にありがとうございました。また、開催にあたり会場のご手配、出席督励など何かとご配慮いただいた各区分長、自治会長さん重ねてお礼申し上げます。

おかげさまで、二百名を越えるみなさまの出席をいただき、議会のあり方も運営、村政への注文等、議会改革に関する貴重なお意見、又、議員への叱咤激励など各会場で多くのご発言をいただきました。これからの改革検討に十分生かすべく議員一同努力を重ねますので今後とも

よろしくお願い申し上げます。

議会改革への取組につきましては、懇談会の際、改革検討への基本的な考え方と検討経過を概略ご報告いたしました。そして村民の方々にとつて魅力ある議会のあり方をはじめ、11項目にわたる検討内容についてもご報告いたしてきましたところです。

とりわけ今年度は、検討の第1ステージとして私たち議会での出された意見、考え方をまず村民のみなさまにご報告し、ご意見をうかがうことを主眼としてきました。

その結果、全議員が「開催して良かった」「改めての自覚と勉強の大切さ」など議会報告の重要性や、議会活動について村民に知っていたらご努力の必要性を改めて確認した次第です。

私達は、今任期中に議会改革に関する多面的な検討を深めて

「喬木村議会基本条例」を制定することになっていたしております。

したがって、これからは今回いただいた各種のご意見も十分参考にし、目指す検討項目の中味を深め、論議を尽くしてまいりたいと考えております。

そして、今後とも懇談の機会をもち、時にはシンポジウム形式もとり入れながら、議会としてのあるべき姿と方向性など適時にご報告していく所存であります。

今回の特集号につきましては、村民のみなさまから出されたご意見や考え方をまず知っていただくべく発行いたしました。意のあるところをおくみとりいただき、これからの参考にさせていただくようお願いできれば幸いです。



## （一）村民にとって魅力ある議会のある方とは 何か、評価される議会のあり方は。

① 今回の議員選挙はなぜ無投票になったのか、総括はしたのか。  
（北）

② 議員は区会、地区からの要望を把握しているか。（寺の前）  
③ 議員は住民の代表となっているのか。（寺の前）

④ 議会基本条例は本当に必要か。それより住民に飛び込み意見を聞く必要があるのでは。

⑤ 村の将来に渡って夢やビジョンを描く議会であってほしい。（寺の前）  
⑥ なぜ今、議会改革をするのか。（大和知）

⑦ 議会改革は村民からの要請か、議会自ら行ったのか。（大和知）

⑧ 各議員の抱負の公開はできないか。（町・郭）

⑨ 議員としての活動報告が見えない。（町・郭）

⑩ むらづくり委員会の検討経過を議会も傍聴しているのか、今後の活動に反映されてくるので大きな進歩だと思う。（町・郭）

⑪ 地区に議員がいない。常に村民の意見を聞いて議会報告をしてほしい。（帰牛原）

⑫ 議員は村内を回っていない。村内を区分けして回ったらどうか。（帰牛原）

⑬ 「今までの議論の中味」の、まとめはいつまでか。住民意見の疎通、伝達にはつきりしたものがない。議員、村民が知恵を出し合って条例化しても良いのではないか。（馬場・両平）

⑭ サラリーマンが議員に立候補できる法の整備（休職、復職等）が必要。（馬場・両平、富田）

⑮ 議会改革の意見を求めてきたが、今回の議会改革に敬意を表している。取組を評価し、良い方向に持って行ってほしい。（伊久間、加々須）

⑯ 村の事業仕分けを議会はどのように考えているのか。（伊久間）

⑰ 議会報告会は必要だ、村の1会場で年2回以上開いてほしい。（伊久間、富田）

⑱ 議会懇談会の資料を事前に配布するのが良かったと思う。（氏乗）

⑲ 地区のイベントに、議員は出席して地域の熱意を感じてもらいたい。（氏乗）  
⑳ 議員は村内の様子を把握するため、常に地域に出かけ村民

の意見を聞くことも必要だ。（加々須）・地域を回っての活動も必要だ。（南）

㉑ 議会改革の先進地の栗山町を参考に。（加々須）

㉒ 議会改革の中身が幅広い、絞っていく方が良いのではないか。（南）

㉓ 議会改革のめざす方向をわかりやすくする方向で。（富田）

㉔ 議会改革について村民にわかりやすくする。（富田）

㉕ 村民から意見集約し民意の反映を。（富田）

㉖ 5年、10年後を見据えた条例にしてもらいたい。（富田）

㉗ 議員は10年位前迄は名誉職だったが、今は名誉職ではないのでしっかりやってほしい。（富田）

㉘ 今回無投票だったが議員は自信を持ってやってほしい。（南）

㉙ これからの課題としては少子化、高齢化が大変な問題だがどう取り組むのか。（富田）

㉚ 本会議、委員会等は、つっこんだ議論をして頂きたい。（富田）

㉛ 女性議員は1人だがどう考えるか。（伊久間）

## (2) 村政に対する監視、評価機能(チェック機能)を高めるにはどうすべきか。

① 天下りのなな人事配置があったが、質疑がどこまでできていたのか。充分議論してほしい。

(北)

② 村の定年退職者が、天下りなのか村の職に就いている。議会はどう思っているのか。人事に議会は関係するのか。

(伊久間)

③ 天下りのとらえ方をされる事は、村の職員退職者が関係する職に就くことが多いことで、一般住民からの起用するよう

議会から意見を出してほしい。

(伊久間)

④ 入札価格の適正化を議会はどう判断しているのか。(上平)

⑤ 村政懇談会のあり方を議会でもチェックするように。(上平)

⑥ 議員は全般に渡ってオールマイティな考え方でやっていく様に、もっと勉強を。(大和知)

(大和知)

⑦ 村の振興計画の見なおしで、評価シートを表に出し、議会としてももう少し踏み込んでチェックしてほしい。(町・郭)



## (3) 政策立案機能をどう育て対応すべきか。

① 過去に議案の修正実績はあるか。(北)

(北)

② 議員の権利の中で条例、判定等の提案権、予算の組替案な

どを。

(大和知)

③ 高い所から見ると議員提案が大切である。将来構想を描いてほしい。(馬場・両平)



## (4) 議会運営のあり方はどうあるべきか。

① 本会議だけの傍聴でなく、他の会議などを公開すればよいと思うが(北)

(北)

② 休日・夜間・子ども議会などの本会議開催は考えていないのか。

(北、馬場・両平、伊久間、田上川)

③ 議会の傍聴にいきなり行っても、資料がないと聞いても解

らない。

(町・郭)

④ 事前に資料を配付し、皆が知っておれば親しみをもち考えて行けると思う(馬場・両平)

⑤ 議会の日程や議案、議事録をインターネット上で公開することが必要。

(伊久間、馬場・両平)

## (5) 一般質問のあり方

- ① 内容のある質問と、パフォーマンスや理事者に対する焦点が欠けている質問もあり長いと苦痛になる、今後、尚一層の一般質問の充実を図る様に。  
(大島、馬場・両平)
- ② 議長と議員のやりとりが聞き苦しかった。  
(上平)
- ③ 質問の制限があるが、言い放し、その先の経過をはっきりしてもらいたい。  
(町・郭)
- ④ 同じ質問することは仕方がないのか。  
(帰牛原)
- ⑤ 時間は。  
(馬場・両平)
- ⑥ 反問権、議員の強い意志があるのか。  
(馬場・両平)
- ⑦ 質問の内容は個人の考えか、住民の要望か。  
(南)
- ⑧ 年4回だから大変だと思うが村長の考えをただすには良い機会だ。  
(加々須)
- ⑨ 毎回やらなくても良いが地域の身近な問題を質問して頂きたい。  
(加々須)
- ⑩ 傍聴はあるか。  
(富田)

## (6) メディアの活用

- ① イチゴチャンネルは、動画対応が豊丘・高森と比較して立ち遅れているが、議会で検討しているのか。  
(北)
- ② 議会定例会のいままでの議論の中味について結論は報告されるのか。  
(北)
- ③ イチゴチャンネルで議会の様子を放送すると住民の議会に又行政に対して関心が高まるのでは。  
(上平)
- ④ 議会の様子をテレビ化に実現するよう検討を。  
(富田)
- ⑤ 議会に関心を持ってもらうにはイチゴチャンネル・くりんネットはなかなか聞いたりしないので、議会だよりを見やすくして頂きたい。  
(田上川)

## (7) 議員の自己啓発としての調査研修のあり方

- ① 公約の実現化。(寺の前)
- ② 村議としての自覚をもって、自立をした村だから主張的に行動を起こすことが必要。(大島)
- ③ 委員会研修を公費で行っているが、課題等レポートの公表は。  
(町・郭)
- ④ 政務調査費はむらっていないのか。  
(田上川)

## (8) 議員同士の自由闊達な討議

- ① 議員同士の自由闊達な討議はしていないのか。  
(南)
- ② 議員同士の自由闊達な討議を行えるような基本条例を作って頂きたい。  
(富田)



## (9) 議員定数、報酬について

- ① 報酬に対して、どの様に考えているのか。安くするのか高くするのか、考え方は。(北)  
② 議員定数をどう思うか。(寺の前)
  - ③ 議員は報酬とは別に日当をもらっているのか。(寺の前)
  - ④ 無投票は今後避けるべき、若い人達の議会への参加(起用、登用)を望むが、報酬との関係、定数の問題をどう考えるか。(大島)
  - ⑤ 議員の定数を増やしたらどうか。(帰牛原、伊久間)
  - ⑥ 議員18名から12名になって各議員の仕事の負担はどうか。(帰牛原)
  - ⑦ 議員報酬は誰が決めるのか。(帰牛原、富田)
  - ⑧ 議員報酬は活動に見合ったものか。(帰牛原)
  - ⑨ 議員報酬をあまり下げろべきでない。他の職業が無ければ議員になれない。(帰牛原)
  - ⑩ 議員の報酬をどのように見ているのか。(伊久間)
  - ⑪ 報酬は村税の何%を基準に
- ⑫ 今の議員定数(12人)は適正だ。(富田)
  - ⑬ 理事者、議員報酬はいくらか。(田上川)
  - ⑭ 議員の活動日数はどの位か。(田上川)
  - ⑮ 現行の報酬では大変だ。(田上川)
  - ⑯ 田上川地区では議員はいなくても不都合は感じない。
  - ⑰ 議員定数が18人から一気に12人になって大変だ。(加々須)
  - ⑱ 今迄はほとんどが地域の代表が多かったが、定数削減され自分の地域からは議員がいない場合は余計無関心になるのでは。(加々須)
  - ⑲ 12人の議員をうまく地域に当てはめてはどうか。(加々須)
  - ⑳ 今の議員報酬は安い、ある程度の報酬を出さないと若者が議員にはなれない。(加々須)

## (10) 議会事務局体制について

- ① 議会事務局の体制はどうなっているのか。(南)

## (11) 執行機関とのかかわり方

- ① 全国の中で、阿久根、大阪、愛知県の市長や知事と議会の関係についてどう思うか。(大島、伊久間、田上川)
  - ② 議員がむらづくり委員会参加したことに疑問をいだく。(大和知)
  - ③ 議員と区会との兼務について支障があるのか。(町・郭)
  - ④ 議員と区会の両立は個人の能力に係わることで、区としてはメリットがあると思う。(町・郭)
  - ⑤ アステイたかぎの跡地を公園にするために6000万円を議会が認めたのか。(町・郭)
  - ⑥ 区会執行部と議会議員との兼務の場合は議員に専念するべきだ。(南)
  - ⑦ アステイたかぎの跡地の管理
- ⑧ 区長会と議会の関係についてはそれぞれの区会、自治会と直接話し合った方がよい。(南)



## (12) その他



- ① 今回の班編制に意図はあるのか。地元出身者を入れたらどうか。(北)
- ② 火葬場の検討が頓挫しているが、議会として検討しているのか。(北、田上川)
- ③ 議会改革は、松川町で取り組んでいると聞いているが、他の町村はどうなっているか。(町・郭)



- ④ 議会は広域連合との関わりがあるのか。(町・郭)
- ⑤ 町は郭と別にして、町の地区として開催されたい。(町・郭)
- ⑥ 議員年金問題を議会で研究したことがあるのか。無かったら研究してもらいたい。(馬場・両平)
- ⑦ 議会集落懇談会の今までの出席状況・意見はどうか。(馬場・両平、田上川)
- ⑧ 広域連合で「あれちうり」一斉駆除の取組を検討をしてほしい。(氏乗)
- ⑨ 今回の懇談会に出た意見を集約して発表して頂きたい。(南)
- ⑩ 火葬場の建設をなるべく早くして頂きたい。(南)
- ⑪ 役場・議員の新年会、懇親会の場所は村内を使うように。(南)
- ⑫ 会議の方法は良かった、しかし整理をして出した方が良い。(南)
- ⑬ 行政に携わった者でないとなかなか村の情報かわからないし関心がない。(加々須)
- ⑭ 村の審議会に村会議員がはいっているが見直しをして頂きたい。(加々須)(富田)
- ⑮ 議会改革の取り組みを期待しています。(加々須)

## これからの主なスケジュール

平成23年	先進地視察 シンポジウム開催 集落懇談会
平成24年	村内主団体との懇談会 集落懇談会
平成25年	3月議会基本条例制定



飯田市議会中島議長による勉強会

## 懇談会出席状況

月日	地区名	出席者数	月日	地区名	出席者数
10月12日	北	21名	10月18日	上平	13名
	町・郭	20名		伊久間	24名
	南	27名	10月20日	大和知	10名
10月13日	寺の前	11名		氏乗	17名
	帰牛原	15名	富田	19名	
10月14日	加々須	9名	/		
	大島	12名			
	馬場・両平	14名			
	田上川	11名	合計	223名	



10月12日から村内14会場で集落懇談会の意見集約を特集号として今回発刊しました。今、全国的に議会改革の気運が高まって飯伊地方でも自治基本条例や議会基本条例を制定したり、今後制定に向けての取り組みを行っている町村も増えてきました。今回、出された意見はそのままだに掲載したので文章、内容等で理解に苦しむ力所もあると思

いますが、初めての特集号ですので御容赦願います。議会での議会改革の取組も始まったばかりで、今回の懇談会を皮切りに出された意見の把握など、今後議会内で検討をし、2年後に喬木村なりの議会基本条例ができればと考えております。

今回の懇談会の中にも、住民に議会内容をわかり易く知らせるため、議会だよりの更なる充実を求める意見も出ていました。議会だよりの重要性を適切に感じながらこれからも編集委員は頑張る覚悟です。

**編集委員会**

委員	委員	委員	副委員長	委員長
員	員	員	小澤	横前
昼神三男	森谷博之	元島賞子	博	豊